

総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会
次世代再生可能エネルギー導入検討小委員会（第24期第2回）議事録

日時 令和元年5月16日（木）15:00～17:00

会場 日本学術会議6階 6-A（1）会議室

出席者（敬称略・名簿順）：大和田野芳郎、大久保泰邦、柘植綾夫、山地憲治、中尾信典、北川尚美、安藤満、藤岡恵子、松島潤

議事録作成者：松島潤

資料

資料1：委員名簿

資料2：次世代再生可能エネルギー導入検討小委員会（第24期・第1回）議事要旨

資料3：公開シンポジウム「再生可能エネルギー次段階の導入に向けて」報告書

資料4：次回シンポジウム案

資料5：報告書案

議事に先立ち、資料の確認が行われた。引き続き資料1に基づいて委員名簿の確認が行われ、藤岡委員については委員就任承認済みで現在手続きが進められている。

議題

1. 前回議事録確認

資料2に基づいて、大久保副委員長が第1回小委員会会議議事要旨における「5. 提言の方向性」を読み上げ議論内容が確認された。講演者に対する謝金・交通費については、日本工学アカデミーから支出する予定であったが、実際には講演者が受領を辞退した。今後は、謝金・交通費の支給は実施しない方向とすることが提案された。

2. 前回シンポジウムの報告

資料3に基づいて、大久保副委員長より前回公開シンポジウム報告書の紹介があり、これを承けて議論が行われた。

- ▶ 各講演者の発表資料については、そのままホームページにて公開することで講演者からの了解を得ている。
- ▶ 当日の質疑応答ならびに後日届いた意見については、有益なものは取りあげるとしても、そのまま掲載することには慎重にすべきであり、内容の精査も

必要である。主要な意見とコメントを取り纏める方向が良い。

- プログラム構成として、当初計画にあがっていた「自治体による活動紹介」の部分が欠けていたとの反省がなされた。
- コスト的観点からの Negative な意見が出されていたが、雇用促進の観点の重要性もあることに留意すべきとの意見があった。

3. 次回シンポジウム案の検討

資料4に基づいて、大久保副委員長より次回シンポジウム案の紹介があり、これを承けて議論が行われた。

- 次回は輸送分野を中心テーマとする。
- 「次世代」の定義の確認（売電から利活用への発想転換）
- 以下のような構成とする。
 - ① 基調的講演
 - ② バイオジェット燃料関連
 - ③ 水素利用バス（自治体系の活動）
 - ④ EV 関連（住宅における EV 利用を含む）
- 日程は、11月5,6,7日のいずれかで実施（現時点では学会議会場を3日間とも仮予約）
- 今後のスケジュールは以下の通り。
 - ① 5月末まで：プログラム素案作成。小委員会内での合意
 - ② 6～7月：講演者への打診、都合の調整。最終プログラム確定
 - ③ 8月末まで：親委員会での承認

4. 報告書案

資料5に基づいて、大久保副委員長より報告書案の紹介があり、これを承けて議論が行われた。

- 基本スタンスは、シンポジウムで紹介された先端的技術を紹介し、今後の方向性を述べる。（宇宙での再エネ利用は省いた方がよい）
- 具体的には、講演者による発表要旨のまとめをするか、発表資料から要点抽出しまとめるかして、シンポジウムの内容を要約し、最後に提言を付す形でまとめる。
- スケジュールとしては、12月初旬頃には小委員会を開催し、とりまとめを行い、12月中には完成させて、親委員会であるエネルギーと科学技術に関する分科会の承認を受ける。

以上